

**第2期データヘルス計画の総括  
及び  
第3期データヘルス計画に向けた取組み**

ライオン健康保険組合

# 目次

## 《データヘルス計画とは》

- ✓ データヘルス計画の重要性

## 《第2期データヘルス計画（振り返り）》

- ✓ 重点施策
- ✓ 計画の概要

## 《データから見える当健保の状況》

- ✓ 性年齢構成
- ✓ 医療費構成
- ✓ 健康リスク・生活習慣病リスク

## 《第3期データヘルス計画（今後）》

- ✓ 目指す姿
- ✓ コンセプト
- ✓ 保険事業

# データヘルス計画とは

データヘルス計画とは、全ての保険者に義務付けられた国民の健康寿命延伸のための予防・健康づくりに資する新たな仕組み

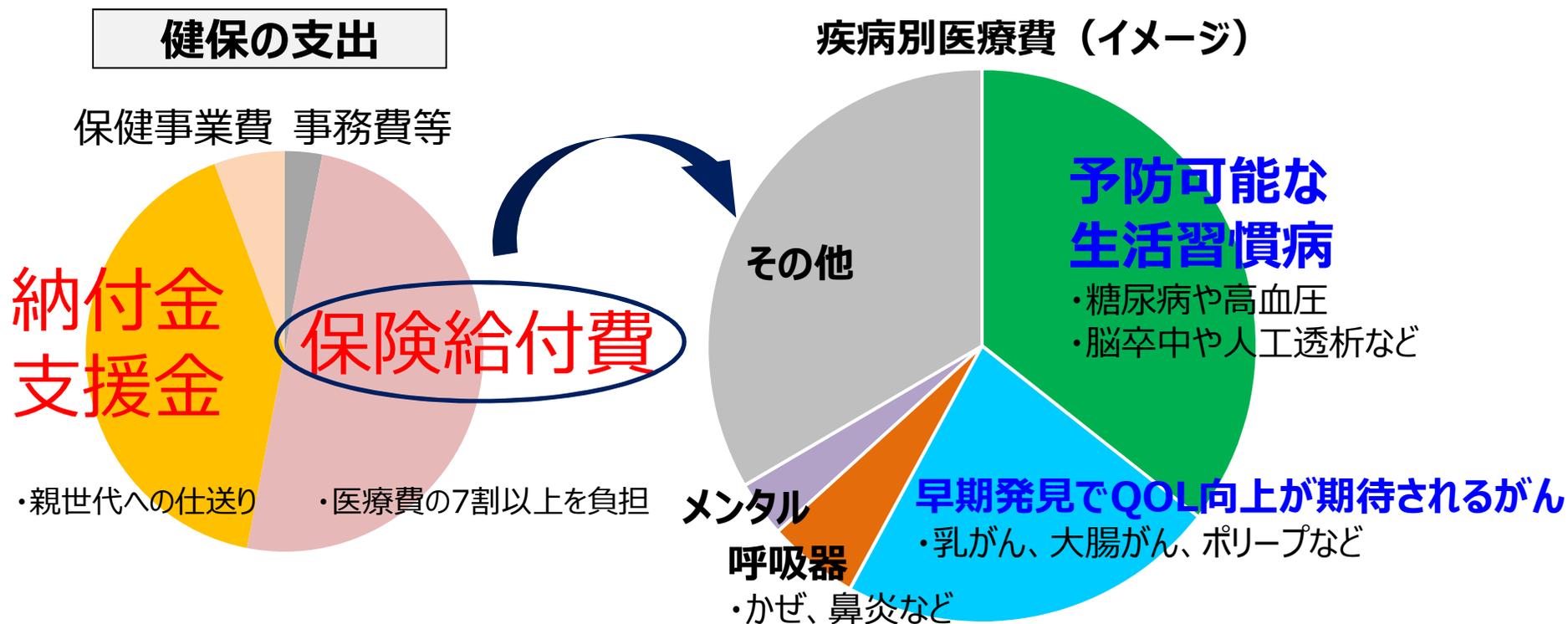
- ✓ レセプト・健診情報等のデータ分析を活用してPDCAサイクルに沿った効果的・効率的な保健事業を実施するための実施計画
- ✓ 特定健康診査等実施計画を一体的に策定

	第1期データヘルス計画	第2期データヘルス計画	第3期データヘルス計画
対象年度	2015～2017年度	2018～2023年度	2024～2029年度
政府の成長戦略	日本再興戦略（2013年）	未来投資戦略（2017年）	
データヘルス計画で国が目指したもの	スタート時は身の丈に合った保健事業の展開	法令を順守した確実な取組み	より実効性を上げる（＝成果を出す）取組み
国のガイドラインを踏まえた当健保の主な実施事項	生活習慣病対策	生活習慣病対策に加えてがん等の対策	第2期のさらなる発展 メリハリをつけて進化させる + コラボヘルスの積極活用

**第3期データヘルス計画では保健事業の成果を出す取組（加入者の健康課題解決）が求められている。**

# データヘルス計画の重要性

健保が出来ることは、データヘルス計画にしっかりと取組み、成果を出すこと。  
「成果」とは健康増進であり、財政安定運営に繋げること。



保険給付費の対策：予防可能と言われる疾病（主に生活習慣病とがん）の対策

前期高齢者納付金の対策：元気な前期高齢者を増やす（≒前期高齢者の1人当たり医療費を減らす）

後期高齢者支援金の対策：データヘルス計画にしっかりと取組む（支援金の減算）

# 目次

## 《データヘルス計画とは》

- ✓ データヘルス計画の重要性

## 《第2期データヘルス計画（振り返り）》

- ✓ 重点施策
- ✓ 計画の概要

## 《データから見える当健保の状況》

- ✓ 性年齢構成
- ✓ 医療費構成
- ✓ 健康リスク・生活習慣病リスク

## 《第3期データヘルス計画（今後）》

- ✓ 目指す姿
- ✓ コンセプト
- ✓ 保険事業

# 第2期データヘルス計画の重点施策（振り返り）

※第2期データヘルス計画：2018～2023年度

## 生活習慣病対策

- 加入者全員のリスクに応じた保健事業の実施  
（ウォーキングイベント、禁煙支援、シニアセミナーなど）
- 重症化予防（ハイリスク者への受診勧奨及び生活習慣改善指導など）
- 被扶養者対策（特定健診・特定保健指導・がん検診の実施など）

## がん対策

- がん検診の受診勧奨（ドック健診・婦人科健診の周知など）
- 有所見者に対する精密検査受診勧奨

## 歯科健診対策

- 歯科健診及びプロケアキャンペーンの参加勧奨
- ハイリスク者への歯科医院受診勧奨
- 口腔衛生強化活動に向けた情報提供、教育（ポピュレーションアプローチ）

## 第2期データヘルス計画の総括



### 成果

- 保健事業の**連携基盤を構築**  
(データヘルス計画推進PTによる健康サポート室・LDH・健保の連携)
- **法定義務**の特定健診・特定保健指導を十分な水準で実施
- **歯科健診受診率は約90%**を達成
- 重症化予防支援事業を基に、**チーム別の組織運営**体制構築
- がん検診を効果的に実施できるよう**体制整備・案内**の強化
- 健保ホームページ改修等、積極的な**広報推進**



### 積み残し課題

- **若年層世代からのヘルスリテラシー向上**  
特定保健指導や小冊子配布等により、若年層から疾病リスクの低減や、健康意識の定着を図る
- **歯科医院受診の向上**  
オーラルケアのリーディングカンパニーとして、歯科受診率100%、プロケアキャンペーンの参加率向上を目指し、口腔ケアの意識向上・習慣の定着化を推進

# 目次

## 《データヘルス計画とは》

- ✓ データヘルス計画の重要性

## 《第2期データヘルス計画（振り返り）》

- ✓ 重点施策
- ✓ 計画の概要

## 《データから見える当健保の状況》

- ✓ 性年齢構成
- ✓ 医療費構成
- ✓ 健康リスク・生活習慣病リスク

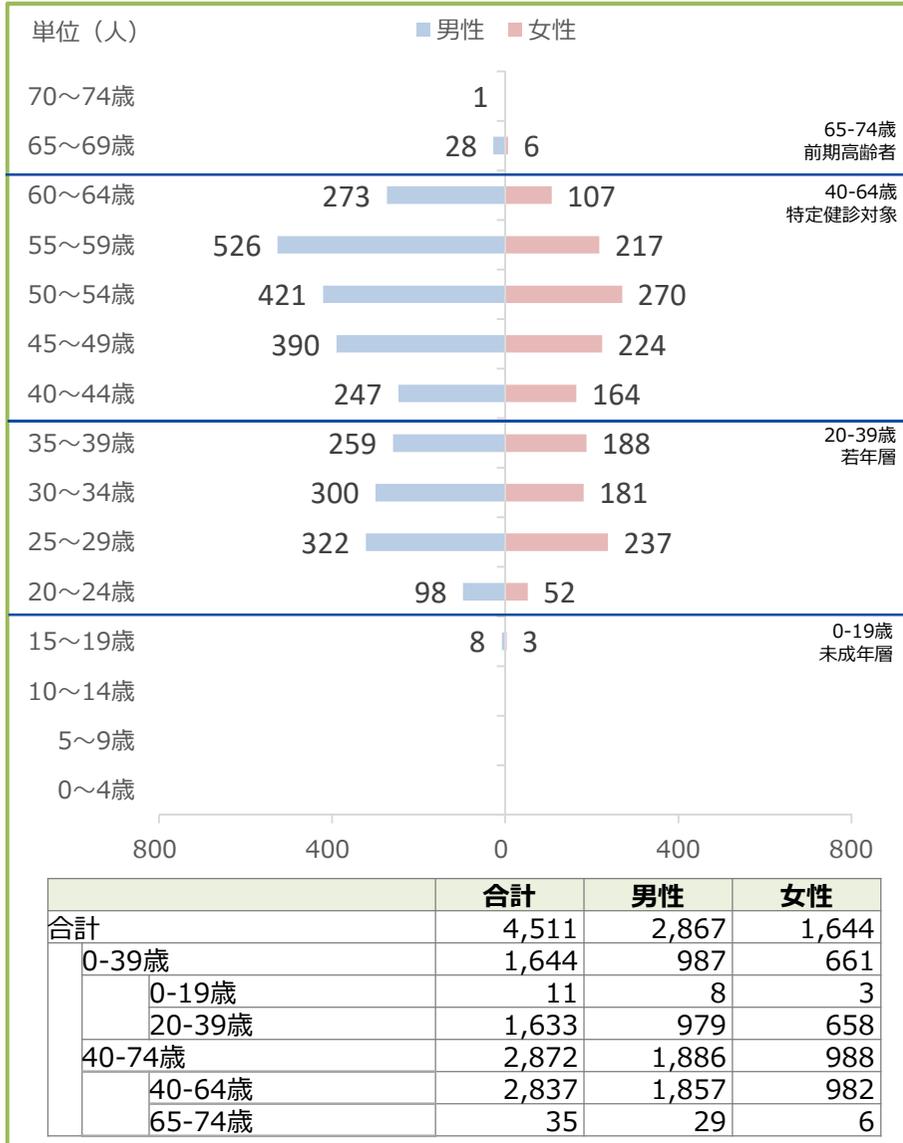
## 《第3期データヘルス計画（今後）》

- ✓ 目指す姿
- ✓ コンセプト
- ✓ 保険事業

# 性年齢構成

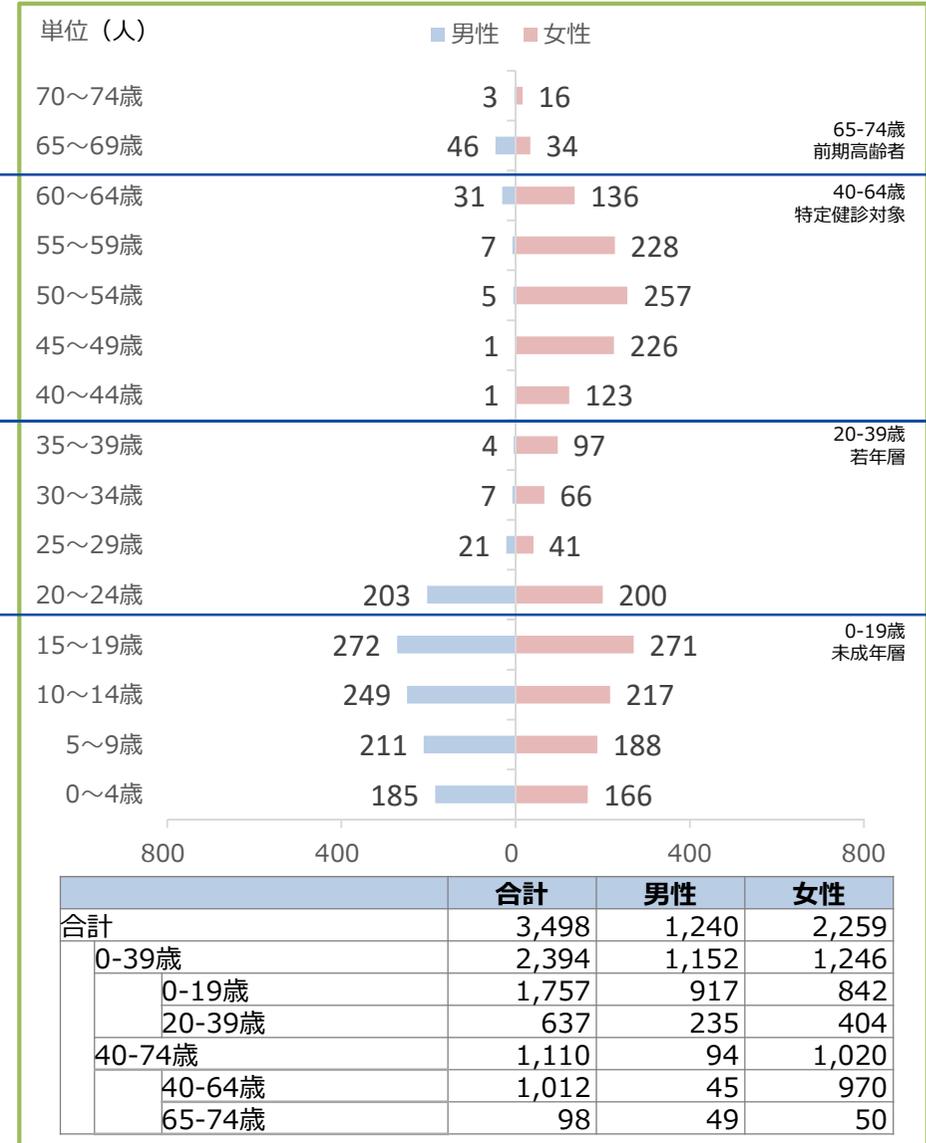
## 被保険者

2022年度



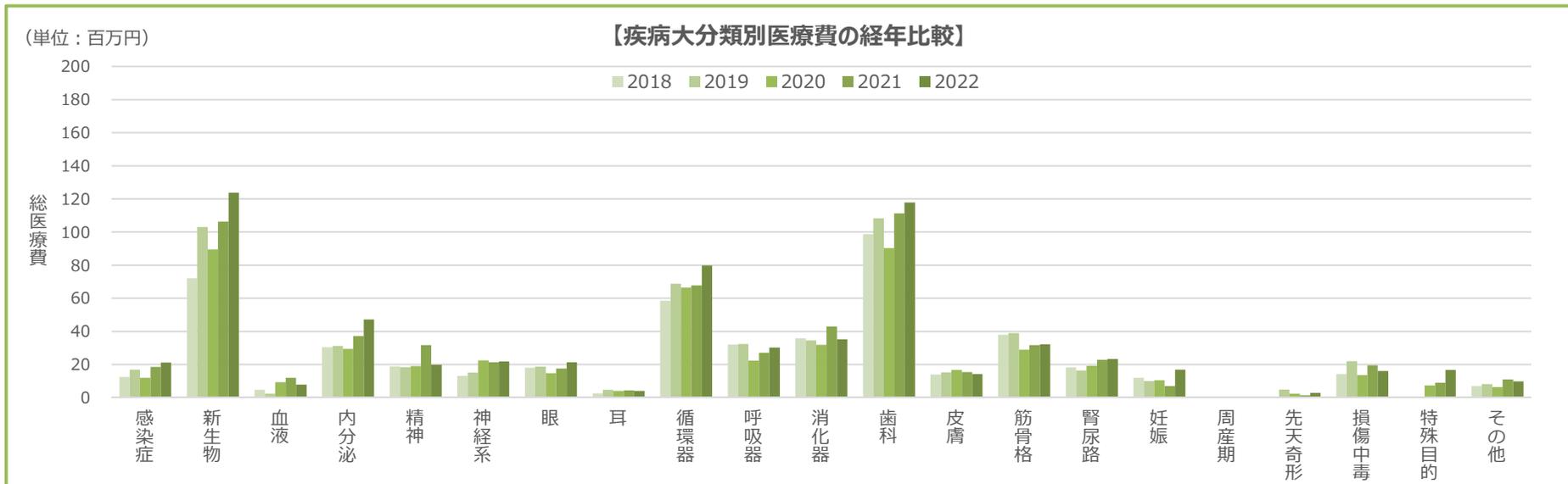
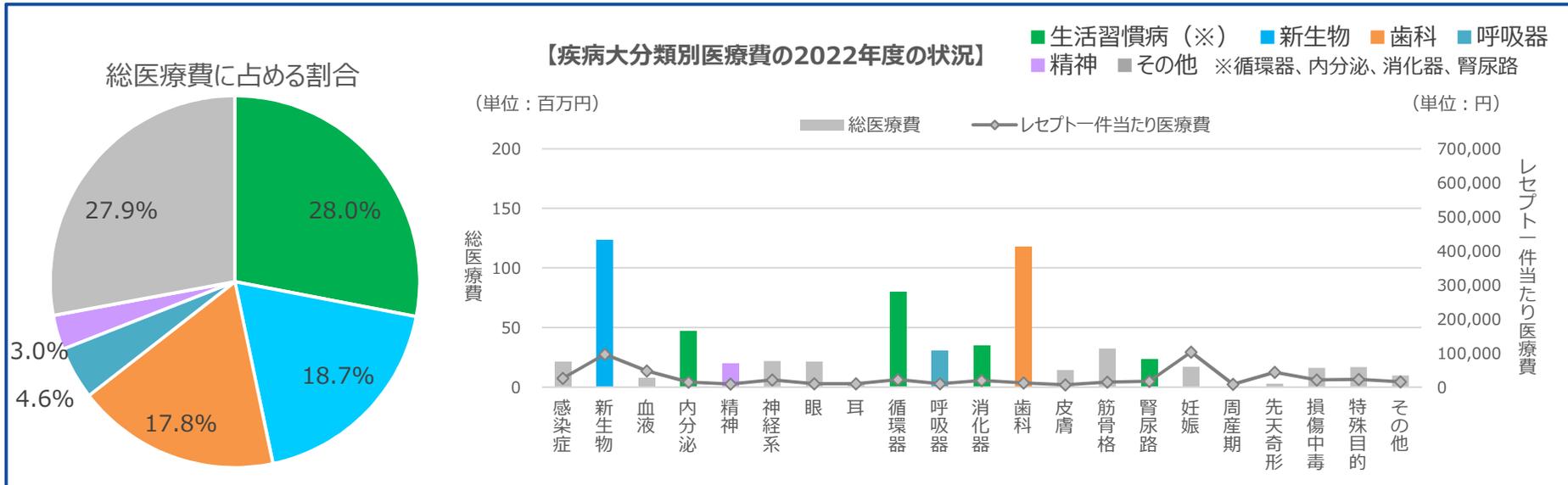
## 被扶養者

2022年度



# 疾病大分類別医療費の状況

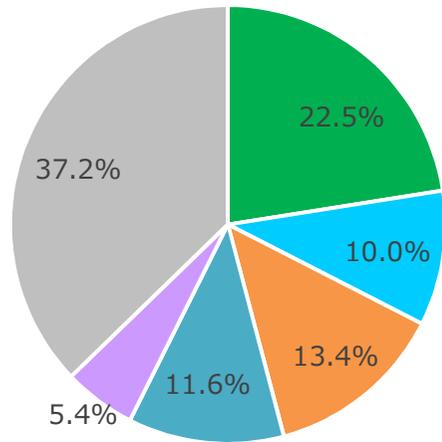
被保険者



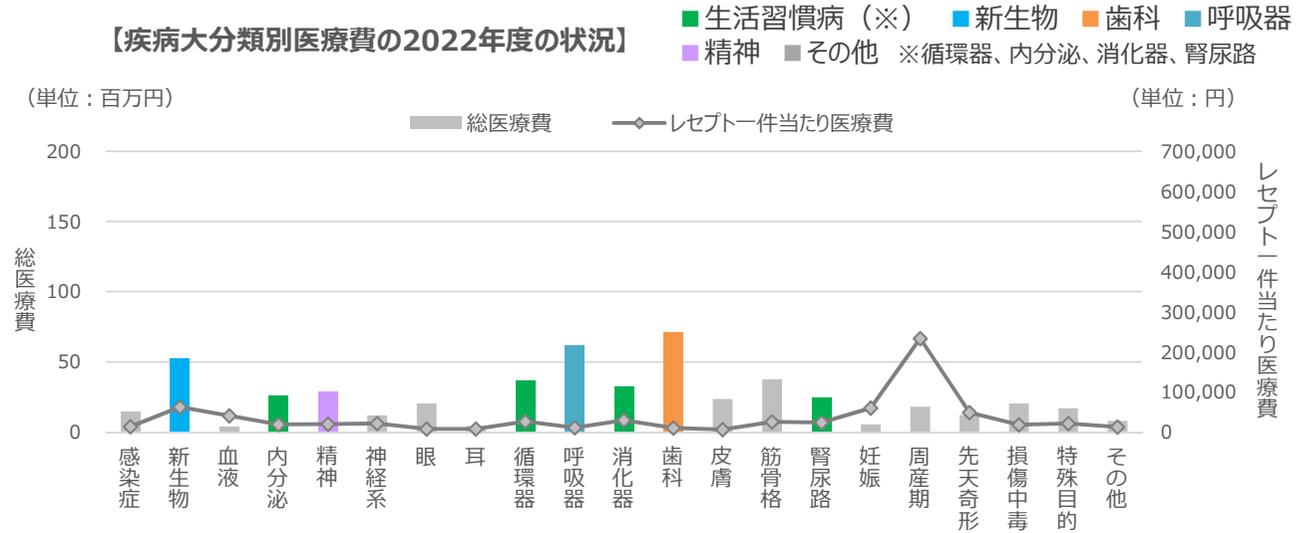
# 疾病大分類別医療費の状況

被扶養者

総医療費に占める割合

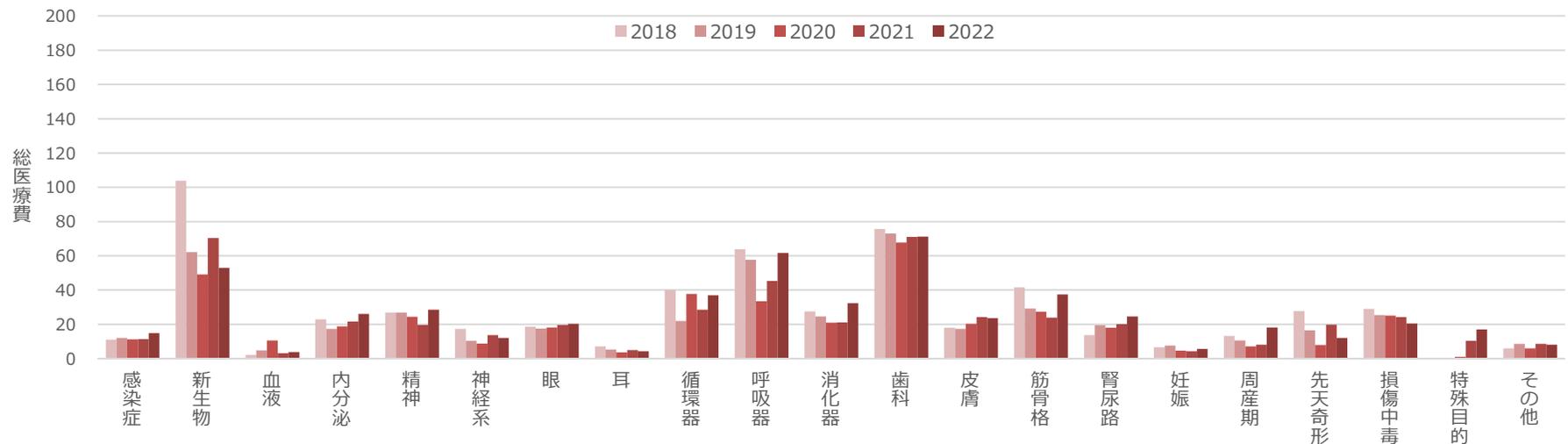


【疾病大分類別医療費の2022年度の状況】



(単位：百万円)

【疾病大分類別医療費の経年比較】



# 特定健診・特定保健指導の状況

- 特定健診及び特定保健指導の実施率は全組合平均・業態平均を上回り、国の目標値を達成。
- 前年比、特定健診0.3Pt上昇、特定保健指導11.3Pt上昇。

## 特定健診・特定保健指導

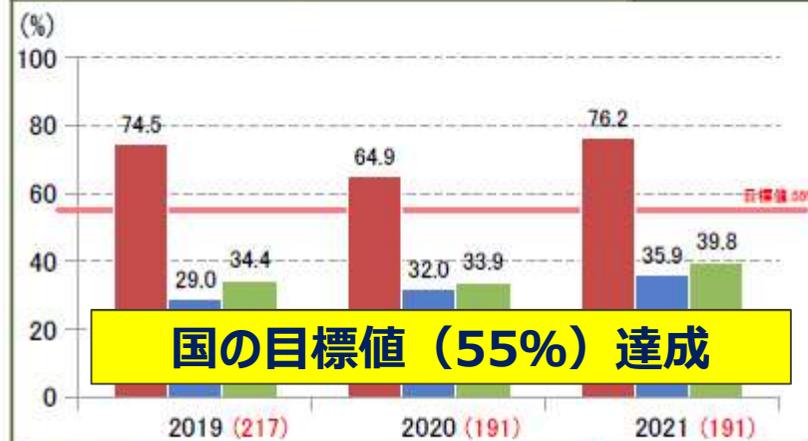
単一	組合順位	69位 / 1,127組合
全組合順位		92位 / 1,380組合

### 特定健診の実施率

1ランクUPまで (\*1) 最上位です

### 特定保健指導の実施率

1ランクUPまで (\*1) 最上位です



特定健診の実施率	2019	2020	2021
貴組合	83.2%	91.8%	92.1%
	537位 / 1,114組合	55位 / 1,126組合	96位 / 1,127組合
業態平均	79.3%	78.1%	80.7%
単一組合平均	81.1%	79.9%	82.5%

特定保健指導の実施率	2019	2020	2021
貴組合	74.5%	64.9%	76.2%
	56位 / 1,113組合	130位 / 1,126組合	79位 / 1,127組合
業態平均	29.0%	32.0%	35.9%
単一組合平均	34.4%	33.9%	39.8%

※ 目標値は、第3期（2018～2023年度）特定健康診査等実施計画期間における保険者種別目標。  
 ※ 順位は、保険者種別（単一・総合）目標の達成率の高い順にランキング。  
 ※ ( )内の数値は、単一組合平均を100とした際の貴組合の相対値。

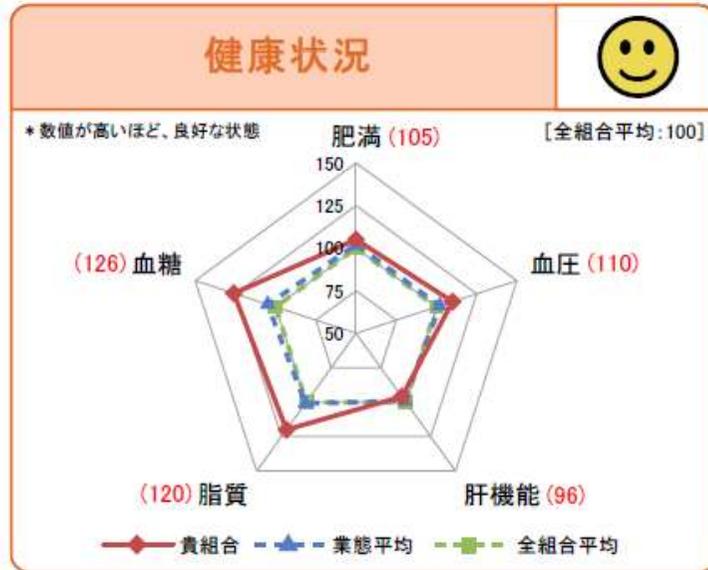
■ 貴組合 ■ 業態平均 ■ 単一組合平均

(\*1) "ランクUP"は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安（実施人数）を記載

# 加入者の健康状況

- 直近3か年、肝機能を除く各項目は業態平均を上回り、良好な状態が続いている。
- 肝機能は全組合平均（スコア100）を下回り、リスクが高い傾向があるため飲酒習慣改善が必要。

## 生活習慣病リスク保有者の割合



リスク	良好	← 中央値と同程度	→ 不良
肥満リスク	😊	😊	😞
血圧リスク	😊	😊	😞
肝機能リスク	😊	😞	😞
脂質リスク	😊	😊	😞
血糖リスク	😄	😊	😞

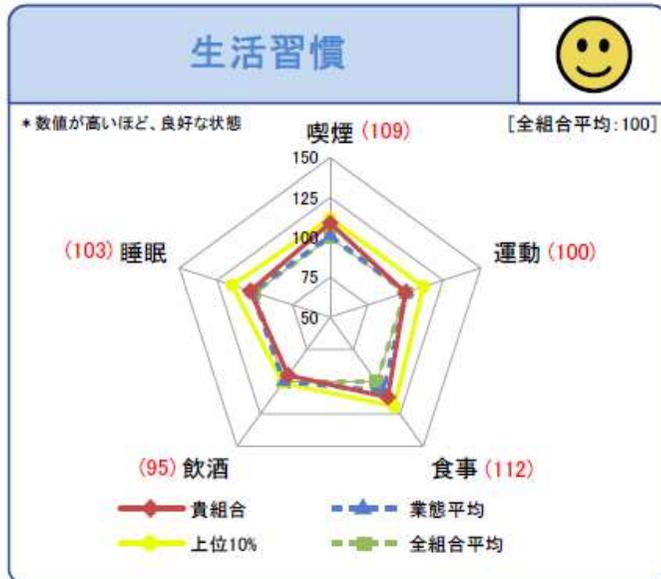
※ 2021年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。

健康状況の経年変化		2019	2020	2021
肥満	貴組合	105	103	105
	業態平均	101	102	102
血圧	貴組合	122	123	110
	業態平均	102	103	102
肝機能	貴組合	103	100	96
	業態平均	98	99	99
脂質	貴組合	121	118	120
	業態平均	101	100	101
血糖	貴組合	127	128	126
	業態平均	105	106	105

# 加入者の生活習慣

- 2021年度は、喫煙・睡眠習慣のみ業態平均を上回り、良好な状態となる。
- 特に飲酒習慣は全組合平均（スコア100）を下回るため、飲酒習慣改善が必要となる。

## 適切な生活習慣を有する者の割合

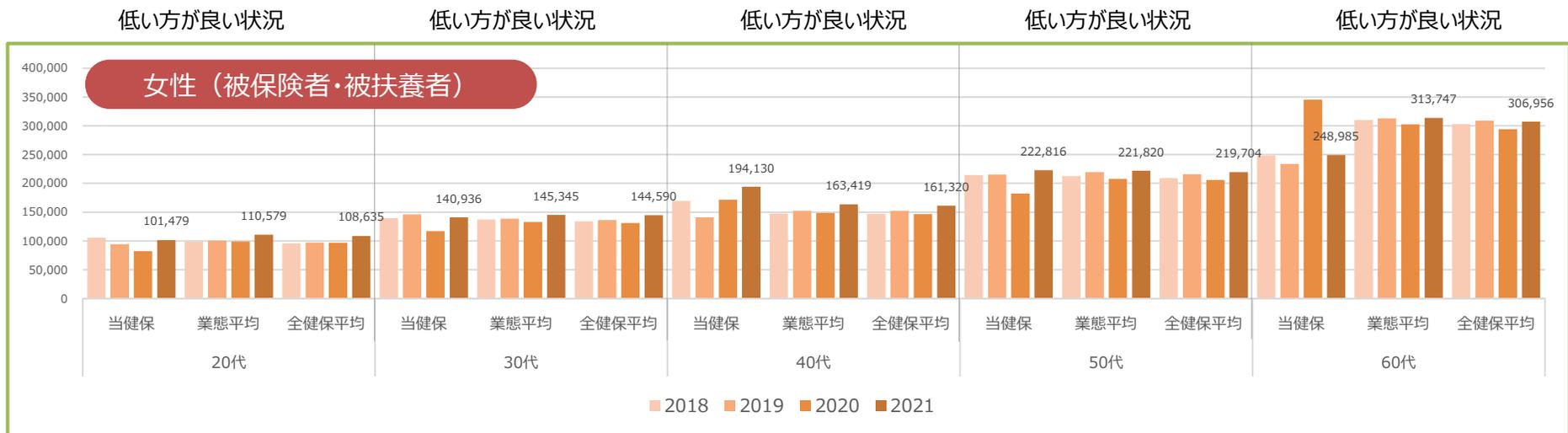
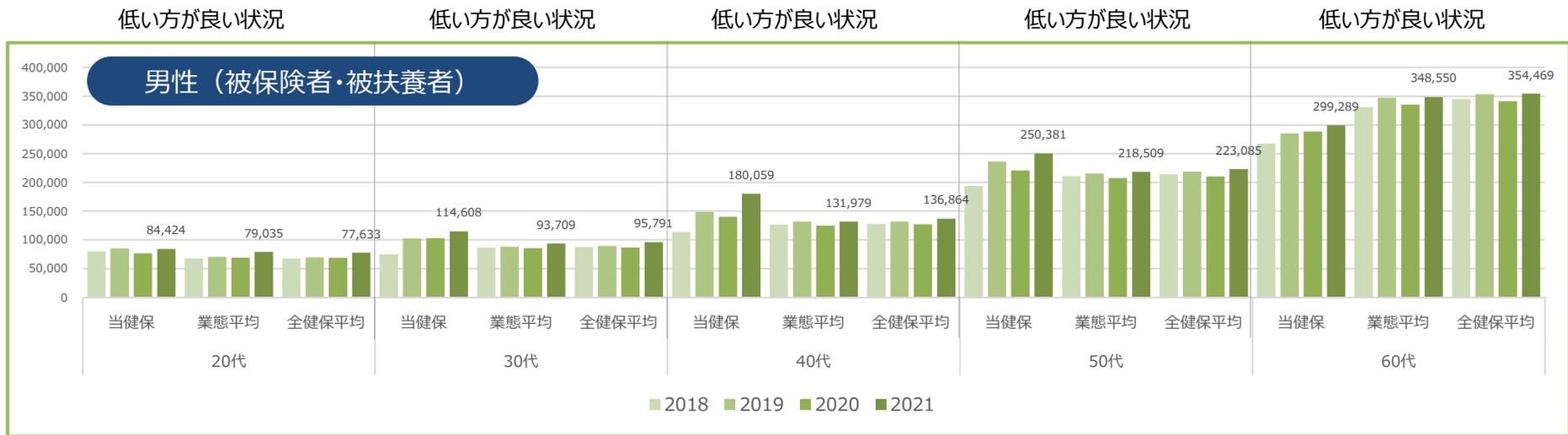


リスク	良好 ←	中央値と同程度			→ 不良	ランクUPまで (*1)
喫煙習慣 リスク	😊	🙂	😐	😞	😡	最上位です
運動習慣 リスク	🙂	😊	😐	😞	😡	あと105人
食事習慣 リスク	😊	🙂	😐	😞	😡	最上位です
飲酒習慣 リスク	🙂	😐	😞	😡	😡	あと20人
睡眠習慣 リスク	🙂	😊	😐	😞	😡	あと92人

生活習慣の経年変化		2019	2020	2021
喫煙	貴組合	108	109	109
	業態平均	101	101	101
	上位10%	112	112	112
運動	貴組合	103	101	100
	業態平均	101	101	101
	上位10%	119	113	112
食事	貴組合	114	112	112
	業態平均	106	107	107
	上位10%	117	118	119
飲酒	貴組合	98	95	95
	業態平均	100	100	100
	上位10%	101	101	101
睡眠	貴組合	99	102	103
	業態平均	103	103	102
	上位10%	114	114	115

# 1人当たり医療費の推移

- 20-50代では、健保平均と比較し、低く抑えられている（20年度はコロナの影響により下がっている）。
- 当健保のボリュームゾーン（50代）の医療費が増加傾向となる。



# 目次

## 《データヘルス計画とは》

- ✓ データヘルス計画の重要性

## 《第2期データヘルス計画（振り返り）》

- ✓ 重点施策
- ✓ 計画の概要

## 《データから見える当健保の状況》

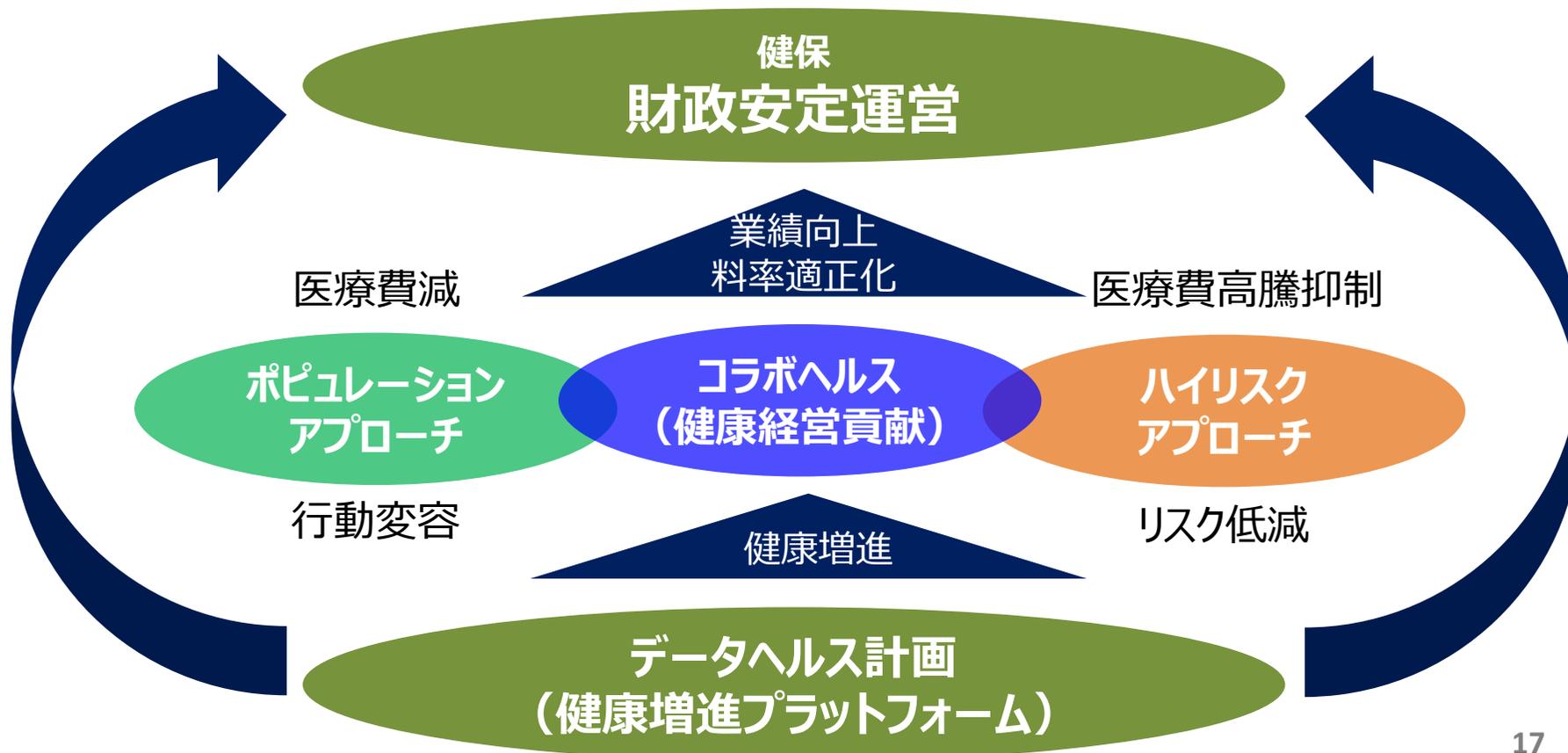
- ✓ 性年齢構成
- ✓ 医療費構成
- ✓ 健康リスク・生活習慣病リスク

## 《第3期データヘルス計画（今後）》

- ✓ 目指す姿
- ✓ コンセプト
- ✓ 保険事業

## 第3期データヘルス計画で目指す姿

- ① **加入者の健康増進**
  - 健康リテラシー向上、生活習慣改善、健康リスク低下 等
- ② **医療費の適正化（健保財政の安定化）**
  - 重症化予防、ジェネリック利用促進、がんの早期発見・早期治療 等
- ③ **事業主の健康経営支援**
  - 定期的なコラボヘルス推進会議等による事業主との連携強化 等



## 第3期データヘルス計画のコンセプト

**健康保険組合、健康サポート室、協力会社（LDH等）とコラボヘルスを更に強化し、加入者の健康増進を図る**

### 《重点テーマ》

- ① 被扶養者の特定健診の受診率を向上させる
- ② 重症化予防事業を健康サポート室と連携実施し、実施者から新規工透析導入者や新規脳卒中・虚血性心疾患発症者を出さない
- ③ ②の過程で、産業医による受診勧奨事業を継続させ、治療が必要な方の早期医療機関受診を勧奨する
- ④ 事業所ごとの情報提供、チームごとの活動をさらに進め、生活習慣改善と健康意識の課題を共有する
- ⑤ 広報等を積極的に進め、生活習慣改善と健康意識向上に資する
- ⑥ ジェネリック医薬品の利用率を向上させる
- ⑦ かかりつけ医での定期的な口腔ケアを促し、歯科意識向上および適切な口腔状態を保つ

# 第3期データヘルス計画の保健事業

